

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 14 期 だい 2 年 だい 4 かい だい 1 にち)
ぎじろく
議事録

- 1 日時 2024 (令和6)年1月14日(日) 午後2時00分～5時00分
- 2 場所 川崎市国際交流センター
- 3 出席者
 - (1) 代表者 13人
イトウ ユリカ キヤレン、ドウマヤス アリヤン、野田 ユワリー、
ヒリストバ ガブリエラ、ペレーラ ラヒル サンケータ、マイ アサエル、
ムハマド アイマン アリフ、楊 子宜、ユデク マルチン、李 歆歆、李 晨、
劉 英杰、林 芳安
 - (2) 事務局
佐藤 課長、三田村 課長補佐、松長根 課長補佐、五十嵐 職員、高橋 専門
調査員
- 4 傍聴者 1人
- 5 会議次第(公開)
 - (1) 開会
 - (2) 事務局説明
 - (3) 議事
 - (4) 事務連絡
 - (5) 閉会

【全体会】

ペレーラ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2023年度第4回第1日を開催する。今日はグエンさん、ブリツィナさん、尹さん、刈農さん、レイバーマンさんが欠席だ。それでは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局三田村課長補佐が説明)

ペレーラ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)それでは、議事に入る。まずは、代表者の欠員と補充についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、案のとおり補充しないというのでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)補充しないことに決定した。次に、提言の取組状況についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料3、3-1に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、次に2023年度年次報告書についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局五十嵐職員が資料3に基づき説明)

ペレーラ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ部会長「今回、私たちが提言を出したら、どうやって取組状況を確認することができなのか。」

事務局五十嵐職員「提言の取組状況は、毎年作成している代表者会議の年次報告書に掲載されている。最新の年次報告書は市のホームページで公開しているので、ホームページから年次報告書を確認していただくとよいかと思う。」

事務局高橋専門調査員「補足だが、年次報告書のバックナンバーは図書館に行けば見ることができる。」

ペレーラ委員長「ほかに何かあるか。(なし)では、修正意見があれば1月21日までに事務局に連絡をお願いします。それでは、続いて長期欠席者の記載について話し合いたい。まずは、事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

ペレーラ委員長「事務局から説明があったように、出席回数を載せるということになると、長期欠席者以外の人の出席状況も載せることになる。また、14期だけではなく、15期以降の代表者にも影響が出てくることになる。ヒリストバさんは参加できなかったのだが、正副委員長・部会長会議で話し合った結果、私と李歆歆副委員長、イトウ部会長の3人は載せない方がよいのではないかという意見になった。いろいろな意見があると思うが、まずは出席情報を載せるか、載せないかについて質問や意見があるか。」

ヒリストバ部会長「先ほどの議事で、結局、代表者ではなくなったということなので、それがわかったことはよいと思うが、出席状況が載っていないことには疑問が残る。私たちは、面接のときに会議に参加できると言っていると思うので、全員の出席状況を載せてもよいのではないか。」

林委員「私としては、2つの理由で載せない方がよいと思う。1つ目は、たしかに私たちは面接のときに参加できると言っているので隠す必要はないというのもわかるが、出席状況を載せてしまうと、これから応募する人が欠席してもよいのだと思ってしまうかもしれない。2つ目に、個人的にはこの方のためにこれ以上時間や労力を使うのはもったいないと感じている。」

ヒリストバ部会長「私も載せるかどうかには強いこだわりがあるわけではない。私が引っかかっているのは、公平性と透明性の部分だ。事務局の方でほかに何かアイデアがあれば教えて欲しい。」

刘晨委員「私も載せない方がよいと思うが、個人的にはこれ以上時間を使うのは無駄だと感じている。それよりも、長期欠席者の人がどのくらい欠席の連絡をしていたのかの方が気になる。無断欠席が続いていたのなら、そもそも名前を載せるべきではないと感じる。」

ペレーラ委員長「事務局から何かあるか。」

事務局高橋専門調査員「いくつかポイントがあったので、順番に回答したい。1つ目に、公平性と透明性に関してだが、会議の記録として公開している議事録には出席者の名前が載っている。そういう意味では、個人の出席状況はすでに公開されている。2つ目に、長期欠席の人の状況と経緯についてだが、個人的なこともあるので言える範囲で説明する。まず、1年目のかなり早い時期から欠席が続いていた。あとからではあるが事務局として把握していたのは、入院しなければならず、なかなか連絡をするのも難しい状況にあったということだ。これは、本人から連絡があった。事務局の対応としては、参加で

きるようになったら参加してくださいというお願いをした。欠席の連絡が毎回あったわけではないが、事情が事情だったので、事務局としてはまだ状態が回復していないためやむを得ないものと受け止めていた。これが1年目の状況だ。最終的には、今回、代表者の資格がなくなったわけだが、それは9月くらいのタイミングで郵送した資料が戻ってきてしまったことが発端となっている。事務局としては、会議資料が戻ってきたので川崎市にいるのかという確認の連絡をしたところ、最近海外に出ていることが増えているとの返事があった。ただし、本人から辞任するとか、市外に転居したという話はなかった。住所についての返事がなかったので、川崎市に住所はあるのかという確認を何度かしたが、返事が来なくなってしまったため、住民登録を調べ、住所がなくなっていることがわかったという流れだ。」

ヒリストバ部会長「今回のことはわかった。ルールの見直しなのかはわからないが、出席管理など今後ともこういったことが起きないようにするための方法は検討した方がよいと思う。」

刘晨委員「たとえば、長期の無断欠席の場合は除名するなどのルールがつかれないかと思う。」

李晨委員「代表者会議の運営要綱によると、資格の喪失以外では、基本的には辞任の申し出をしないと解職できないことになっている。長期で欠席しているからといって辞めさせられないという事務局の説明はわかる。今期はもう時間がないので、もし来期のメンバーで問題意識があればディスカッションしてもらえるとよい。」

楊委員「たとえば、折衷案として名簿の順番を五〇音順ではなく、出席回数順にしたらどうか。」

ペレーラ委員長「事務局から説明をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「五〇音順をやめて出席回数順にした場合、出席回数順であることを説明する必要がある。出席回数を明記しなかったとしても、下の方に名前がある人は欠席が多かったと見えてしまう。仮に全員欠席がなかったとしても、下の方の人はそう見えてしまう。」

ヒリストバ部会長「そうであれば、欠席がなかったことを書けばよいのではないか。」

事務局高橋専門調査員「私の例がよくなかったかもしれない。実際には、これまでの経験から1年間で欠席がまったくないということは残念ながら考えられな

い。」

李 敬 敬 副 委 員 長 「みなさんの気持ちもよくわかる。ただ、ここで載せる、載せないというよりも、今回のようなことが起きないように、どうすれば長期の欠席を防げるかということをお話し合った方がよいのではないか。」

ヒリス トバ 部 会 長 「理解した。私もこのことを議論するよりも、今後どうしたらよいかということをお考えた方がよいと思う。」

ペレ ー ラ 委 員 長 「それでは、いろいろと意見は出たが、年次報告書に個人の欠席回数 は載せないということによいか。賛成の人は手を挙げてください。（ 全 員 賛 成 ） それでは、続いて今後の対策について事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が説明）

ペレ ー ラ 委 員 長 「何か質問や意見はあるか。」

イトウ 部 会 長 「現状だと、欠席の連絡は金曜日の5時までということになっているが、子どもがいる人などで土日に急に出席できなくなる場合はどうすればよいか。」

ペレ ー ラ 委 員 長 「予定していた時間が迫ってきたので、申し訳ないがこの議事に関しては一旦ここまでとしたい。今後の改善策について、次回の会議で引き続き話し合うかを決めたい。事務局からは、会議以外でも意見は受け付けると聞いている。それでは、次回の会議で話し合いたいという人は手を挙げてください。（ 9 人 ） 次回の会議ではもう話し合わなくてよいという人は手を挙げてください。（ 4 人 ） では、事務局は次回の議事に追加するようにお願いします。このあとは部会審議だ。全体会の再開は16時35分からということでお願 います。」

【安心生活部会】

ヒリス トバ 部 会 長 「それでは、部会を始めたい。まずは、事務局から今日の部会審議 について説明をお願いします。」

（事務局五十嵐職員が資料4に基づき説明）

ヒリス トバ 部 会 長 「何か質問はあるか。（ なし ） それでは、さっそく議事に入る。事務局から提言について説明をお願いします。」

（事務局五十嵐職員が資料4-1に基づき説明）

ヒリス トバ 部 会 長 「まず、前回、刘さんから意見のあった部分について、刘さんは

これでよいか。」

劉英杰委員「問題ない。これでよい。」

ヒリストバ部会長「では、それ以外の箇所について確認していきたい。何かあるか。」

ドウマヤス委員「図がいくつかあるので、番号をつけたらどうか。」

マイ委員「私も同じ意見だ。」

楊委員「私からはとくにない。ここまでまとめていただいて素晴らしいと思う。」

ムハマド委員「私もとくに修正はいらない。理解しやすかった。」

野田委員「細かいところまで意見を反映してくれているので、私もとくに修正は必要ないと思う。1つだけ、2ページのグラフの0歳の外国人住民人口と子どももの国籍のところがよくわからなかった。」

事務局五十嵐職員「まず、0歳の外国人住民人口は川崎市の統計情報だ。子どもの国籍に関する図は外国人市民意識実態調査のものだ。2つの図から、両親ともに外国籍の世帯が増えていくことが推測されるということ述べている。」

劉英杰委員「1つ目のグラフと2つ目のグラフの順番を入れ替えたらどうか。」

ヒリストバ部会長「では、事務局は修正の検討をお願いする。文章についてほかに何かあるか。（なし）では、リーフレットについて説明をお願いする。」

（事務局五十嵐職員が資料4-2に基づき説明）

ヒリストバ部会長「何かあるか。」

楊委員「確認だが、これはすべて日本語と併記するということがよくなったか。」

事務局五十嵐職員「そうだ。以前の会議の中で、外国語だけだと窓口で日本人の職員がわからなくなってしまうので併記にするということになったはずだ。」

野田委員「11番の陣痛タクシーは貴重な情報なので載せたい。注釈で使えないエリアもあると書くことで載せられないか。」

劉英杰委員「たとえば、2024年3月のように、いつ時点の情報に基づいて作成したものかがわかるようにした方がよいのではないか。」

ヒリストバ部会長「私もそれがよいと思う。」

楊委員「並び順を時系列にした方がよいと思う。」

劉英杰委員「それでは、表を産前、裏を産後にしたらどうか。」

ヒリストバ部会長「ロジカルだと思うが、スペースの関係もある。」

事務局五十嵐職員「産前には何を持ってくればよいか。」

ヒリストバ部会長「産前と産後の両方に関係するものもあるので、「産前」「産後」

のようにタグをつける方がよいかもしいない。」

楊委員「9番の子育てチャートは全体の流れがわかるものなので、最初に持ってくるのがよいのではないか。」

ヒリストバ部会長「考えだすと難しい。」

楊委員「あえて産前・産後に言及しなくてもよいのではないか。」

事務局五十嵐職員「もともとの並びは、市の産前・産後支援制度、各区のガイドブック、市の情報、市以外のもという順番でつくっていた。ここまでの議論を整理すると、カテゴリーはなしにして、最初に子育てチャートを持ってくる。あとは基本的に順番通りで、欄外に陣痛タクシーということでよいか。」

ヒリストバ部会長「カテゴリーはあった方がよい。「相談」「情報」のようなタグのようなものでもよいかもしれない。」

楊委員「欄外にワンストップセンターもあるとよい。」

ドウマヤス委員「カテゴリーごとに色分けするとよいかもしれない。」

ヒリストバ部会長「いろいろと修正意見も出たが、修正版をみなさんにLINEで送るので、最終的な確定は私に一任させてもらってもよいか。（異議なし）それではだいぶ時間が超過してしまったので、今日はここまでとする。」

【情報・社会部会】

イトウ部会長「それでは、部会を始めたい。まずは、事務局から今日の部会審議について説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、審議に入る。まずは、介護保険制度について事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5-1に基づき説明）

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

李歆歆副委員長「前回の意見が反映されているので、私は大丈夫だ。」

イトウ部会長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、説明があったようにレイアウトなどに関しては微修正してもらおうとして、それ以外では修正なしということにしたい。次に、日本語学習について事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料5-2に基づき説明)

イトウ部会長「何か質問や意見はあるか。」

ペレーラ委員長「調査の部分だが、調査が必要だということは書いてあるが、だから調査をして欲しいということが明確に書いていないのではないか。」

事務局高橋専門調査員「一応、最後のところで、「ぜひ調査を通して明らかにして、市の取組につなげてください」としている。」

ペレーラ委員長「提言を受けた側としては、それでやらなければならないという認識になるのか。」

事務局高橋専門調査員「なると思う。そもそも文章から読みとるという以前に、提言の項目として調査をするということが明確に位置づけられている。」

ペレーラ委員長「承知した。」

林委員「文章の中には「定期的」という言葉が入っているが、項目の中には入れないのか。」

ユデク委員「1回しかやらないということはないが、「定期的」という言葉を入れると、何回やればAになるのかという判断の見極めが難しいということだったと思う。」

事務局高橋専門調査員「今の説明のとおりだ。背景・理由に明確に「定期的」とあるので、1回しかやらないということはないが、項目に「定期的」と入ってしまうとAと判断するタイミングが難しくなる。たとえば、調査を2回やってみて結果が変わらないのであれば、その後も同じスパンで繰り返す必要はないかもしれない。」

林委員「1回でAになってしまうことを心配していたので、今の説明で理解した。」

ペレーラ委員長「今の説明で、逆に調査結果に変化が見られたとして、たとえば3回やってAになったら、そのあとも調査はするか。」

事務局高橋専門調査員「Aになったからといって、必ずしも調査をやらなくなるということではない。たとえば、外国人市民意識実態調査も過去に2回実施してAになったが、3回目も来年度の実施に向けて動いている。」

イトウ部会長「それでは、一応、決をとりたい。項目には「定期的」と入れなくてよいか。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)ほかに何かあるか。

(なし)それでは、次回の予定について事務局から説明をお願いします。」

事務局高橋専門調査員「いくつか意見が出たが、基本的には修正はなしということで理解している。統計の部分だけ、最新のものにアップデートして、次回、最後

ムハマド委員長「2月17日に幸市民館で多文化フェスタさいわいがある。内容としては、カフェコーナーでクイズをしたいと思います。クイズは市民祭りで使ったものと同じだ。今回は第14期として最後のイベントなので、ぜひみなさんの参加をお願いする。」

ヒリストバ部会長「私からも、ぜひ最後のイベントなのでみなさんの参加をお願いする。」

ペレーラ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

事務連絡

- ・ ニュースレターに載せる感想について
- ・ 川崎高校からのアンケートについて
- ・ 次回の会議の服装について
- ・ 年次報告書に載せる感想について
- ・ 事務局の住所変更について

ペレーラ委員長「次回の会議で最後になる。提言もほぼ固まっているが、最後はみなさんで笑って楽しく終われたらと思う。最後は全員で出席できるように体調管理をお願いする。それでは、これで今日の日程は終了だ。次回は、2024年2月4日、日曜日、ここ国際交流センターで開催する。これで2023年度第4回第1日の会議を終わりにする。」